

重要なお知らせ

VeQRR2_2421-00003

情報更新日:2017年2月24日

情報掲載日:2011年6月28日

キヤノンアネルバ株式会社

SPF/L-300, 312, 313, 330, 332 スパッタリング装置ご使用のお客さまへ

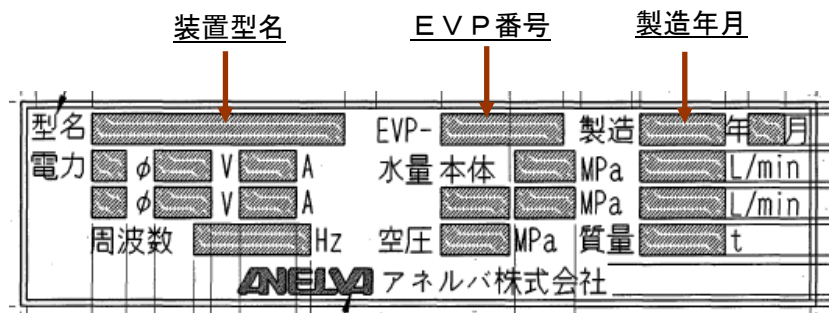
平素は弊社製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

さて、スパッタリング装置SPF/L-300,312,313,330,332 をご使用中のお客さまには、2008年6月より弊社ホームページ等を通じまして、「装置蓋開閉用タイミングベルトの点検及び交換に関するお知らせ」をご案内させていただきました。ご案内させていただいてから既に3年を経過いたしましたがお客さまのご使用状況が確認できないケースがありますので、再度ご連絡をさせていただきます。

対象製品

1980年～2002年に製造された以下型式の小型スパッタリング装置

装置 型 名	SPF-300H
	SPF-312
	SPF-313
	SPF-330
	SPF-332
	L-312S-F
	L-313S-FH
	L-332S-FH



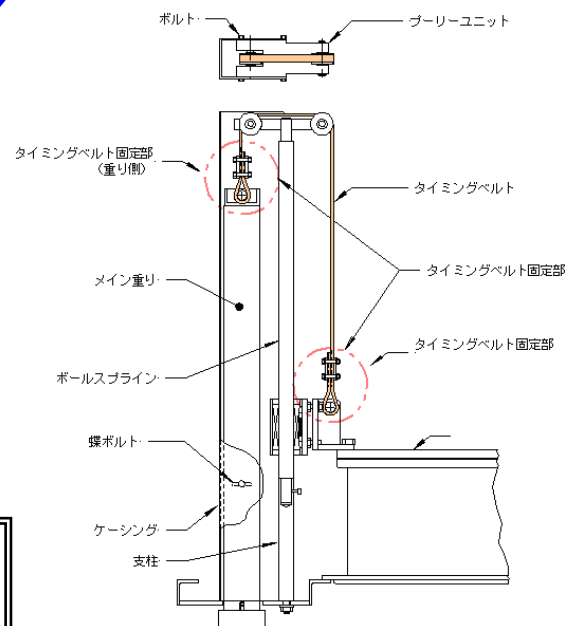
装置型名、及びEVP番号は、装置の背面下部に取付けられている「装置副銘板」に記載されています。

注)H、HS、HSL、特型、H特型
HS特型などを含みます。



事象

写真はSPF-332Hの例です。
型名によって外観が異なりますのでご注意ください。



お客さまにてご使用いただいております対象製品で、タイミングベルトを長期間交換されていない場合、タイミングベルトが切れ、蓋が落下する恐れがございます。

蓋が開いた状態でタイミングベルトが切れた場合には、作業者が手や腕を挟まれたり、打撲を負うなど怪我に至る恐れがございます。

対応について

既に2008年6月より弊社ホームページ等を通じお知らせしておりますとおり、3年以上の間、タイミングベルトを交換せずにご使用されている装置ではご使用中に停止していただき、タイミングベルトの交換をご案内させていただいております。交換作業につきましては、有償にて承っております。お客さまに引き続き安全にご使用いただくために、添付の「リフト機構点検マニュアル」による定期的な点検をお願いいたします。

「リフト機構点検マニュアル」は、取扱説明書に追加し、日常点検にもご利用いただきますようお願いいたします。

なお、点検の結果異常が確認されなかった場合でも、安全にご使用いただくため3年を目処に定期的に交換くださいますようお願いいたします。

交換作業にあたっての注意事項

タイミングベルト交換作業は専門的スキルや治具が必要なため、弊社サービスマンによるのみ行うこととさせていただきます。

交換が必要な場合は、最寄りの弊社サービス拠点までご下命ください。

弊社サービスマン以外の交換作業に関しては、一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

リフトロック機構の無い装置をご使用のお客さまへのお願い

1994年1月以降、製造された装置には、安全性向上のため、リフトロック機構が装備されています。リフトロック機構を使用することにより、蓋が開いた状態(上限位置)から落下することを防止することができます。この機会にリフトロック機構の取付けも合わせてご検討ください。(詳細は別途ご相談ください)

対象製品をご使用のお客さまには、ご迷惑をおかけいたしますこと謹んでお詫び申し上げます。今後とも、お客さまに安心してご使用いただけますよう更なる努力をしておりますので、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご不明な点は、以下の URL よりご連絡ください。

<https://anelva.canon/contacts/index.html>